

読者の皆さんから届いたお便りなどを紹介します

総社のチームが男女ともに、10月11日、12日に千葉県成田市で開催されるペタンク日本選手権大会(全国大会)への出場を決めました。



全国大会に向け練習するメンバー

この岡山県予選会が6月29日に、あいにくの雨のなか清音小学校で開催されました。総社市からは、男女それぞれ1チームが参加しました。岡山県のレベルは高く、予選会を勝ち抜くのはたいへんでしたが、日ごろの練習の成果を遺憾なく発揮して、男子は見事優勝。女子は惜しくも準優勝でした。

るため、両チームとも出場できることになりました。全国大会までに、しっかりレベルを上げて、上位入賞を目指してがんばりたいと思います。

また、来年の日本選手権大会は、総社市での開催が決まりました。岡山県では、初めての開催です。大成功の大会となるよう、多くの皆さんにご協力いただきながら、大会の準備とペタンクの普及・レベルアップにがんばります。

(佐野裕二さん
清音軽部)

公民館講座のパソコン教室で、自分で撮った写真をパズルにする方法を習いました。孫の写真や家族でできる時間を競い合い、楽しい時間を過ごしています。特に、私の老化防止に役立っています。

(ペンネーム
チューリップさん)

夏休みが始まって間もない7月26日、昭和公民館のカヌー教室がそらじや水辺の楽校で開かれました。

31人の小学生が参加し、水しぶきをあげ、大はしやきでカヌーをこいでいました。家のなかで遊ぶことの多い今の子どもたちですが、猛暑のなか、得意気にカヌーに乗る様子を見て、外で遊ぶことのよさを再認識しました。カヌーを楽しんだ子どもたちから、「またやりたいなあ」という声があがっていました。

(日美地区市政モニター
赤木宏平さん)



乗り方の指導を受けた後、カヌーをこぎ出す

↓点線に沿って切り取ってください。(官製ハガキでも可)

市 民 憲 章

わたくしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

- 1 郷土を大切に
美しい環境をまもりましょう。
- 1 生涯学び
明るい家庭をぎざぎざしましょう。
- 1 たがいに助け合い
あたたかいまちをつくりましょう。

- ◎市の花/れんげ
- ◎市の木/もみじ
- ◎市の鳥/タンチョウ

インタビュー
i n t e r v i e w

輝いている人

人を幸せにできる力のある
笑顔届けたい



NPO法人吉備野工房ちみちを立ち上げ、代表を務める

加藤 せい子さん(奥坂)

NPO法人吉備野工房ちみちの代表を務めるのが加藤せい子さんだ。

10年以上も前、「まちづくりにつながる事がしたい」と話していた。同じ思いの仲間と出会い、総社の文化や風土を生かしたイベントや公演などに携わってきた。数年前から、「地域と行政をつなぐ、橋渡し役をやりたい」と話すようになった。どうしたらできるかと模索していたが、その最良の形として、NPO法人の立ち上げを選んだ。

今年5月、NPO法人として認可され、思いを託し、継続的に活動するための舞台が整った。「多くの人々をつなぐ道となれるように」と、名前も、備中神楽の舞台の天井から八方に吊るす「続きの紙「千道」にあやかったと話す。

在、国の「地方の元気再生事業」に選定された「吉備野古ツールリズムプロジェクト」を市内で展開中。総社にあるものを使い、ものづくりや交流を通して、地域に元気を与えようというものだ。その一つとして、9月下旬から10月にかけて、14プラス1の体験交流プログラム「みちくさ小道」を企画した。その準備に大忙しの毎日だが、「総社にある素材を編集・加工して、従来とは違う見せ方をしたい」と意気込む。

「ちみちの活動を、喜んでもらえたときの皆さんの笑顔を見ると、幸せな気持ちになれる」。自らも、人を幸せにできる力のある笑顔を届けたいと言う。そして、「今まで自分を成長させてくれた地域の人へ、恩返しをしたい」と、語る笑顔に熱い思いを感じた。